

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	生涯学習課長 飯田 拓也	
教育一54	吉屋信子記念館管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	生涯学習課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し、後世に伝えるとともに、市民の文化教養の向上を図るため。
効果	施設の保存、業績を後世に伝えることにより、市の財産として誇れるものとなる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

吉屋信子記念館開館50周年を記念し、鎌倉女子大と協働で大学公開講座を実施し、吉屋信子氏の業績と、建築物としての吉屋邸を広く市民に周知し、教養の向上を図った。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	吉屋信子記念館維持管理事務	光熱水費、消耗品費等	進行管理(率)	89 / 100	100	100	89.0%
				1,547 / 1,788	1,800	1,800	
02	吉屋信子記念館施設貸出事務	管理補助委託業務料	利用者満足度調査の実施回数(回)	0 / 1	1	1	0.0%
				61 / 337	325	325	
03	吉屋信子記念館一般公開事務	管理補助委託業務料	利用者満足度調査の実施回数(回)	0 / 1	1	1	0.0%
				944 / 925	909	909	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	32 / 54	54	54	
			一般財源	2,520 / 2,982	2,982	2,982	
			事業費の合計(千円)	2,552 / 3,052	3,036	3,036	
			人件費(千円)		2,065	3,829	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.0	1.0	0.8	0.2	0.2	0.4
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	吉屋信子記念館維持管理事務	適切な維持管理として、庭園管理、修繕等を行った。	貴重な文化財である邸宅、庭園の適切な維持管理に努めている。	老朽化が進み、修繕が必要な箇所等が年々増えており、経費が上がってきている。
02	吉屋信子記念館施設貸出事務	利用者満足度調査の方法について検討した。	貴重な文化財である邸宅を市民の学習の場として提供し、市民の文化教養の向上に努めている。	利用者アンケートを館内に設置し、来館者の満足度や課題等の把握に努める。
03	吉屋信子記念館一般公開事務	利用者満足度調査の方法について検討した。	吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝えることに寄与している。	社会教育事業として「吉屋信子記念館開館50周年記念講演」を行った。このような吉屋信子氏の文学及び施設を市民に伝えるための企画を引き続き検討していく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
			協働実施済の場合のパートナー 鎌倉シルバー人材センター

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
引き続き、維持管理経費が増大しており、長期的な視点をもって維持修繕を行っていく必要がある。また、今後も多くの市民に吉屋信子氏の文学及び施設を市民に伝えるための企画を引き続き検討していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	【吉屋信子記念館維持管理事務】進行管理						単位	率
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
適切な維持管理に努める。	目標値		100	100	100	100	100	
	実績値	49	97	83	80	89		
	達成率		97.0%	83.0%	80.0%	89.0%		

指標(単位)	【吉屋信子記念館施設貸出事務】利用者満足度調査実施回数						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
施設の一般開放、貸出業務を行うにあたり、来館者の満足度を把握する。	目標値		1	1	1	1	1	
	実績値	0.0	0	0	0	0		
	達成率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--